

# 災害向け通信システムの概要

## 災害向け通信システム

既存の防災情報に加え、ブロードバンドを必要とする災害情報(安否確認、警報等)の伝達利用を目的とし、自治体庁舎と公共施設(学校、病院等)を、アドホックに接続したシステムを想定

- ・移動運用と固定運用
- ・屋内・屋外で運用
- ・利用用途に合わせて、ナローとブロードバンドを切り替え

## 主な技術仕様

項目	値(固定的な値の記載が難しい場合には範囲を記載下さい。)	補足
周波数帯	UHF帯(500~700MHz)	
占有周波数帯幅	500k~1MHz(12.5~50kHz)	1ch、画像用(音声用:帯域を分割して使用)
変調方式	BPSK、QPSK、16QAM、OFDM	
空中線電力	100mW~1W以下	距離に合わせて変更
サービスエリア(伝搬距離)	100m~数km	
チャンネル数	6ch (20ch)	1システム当たり
アンテナの形状、利得、指向性、高さ	無指向性アンテナ、八木アンテナ	
その他	ナローとブロードバンドを切り替え	

## イメージ図

